

令和7年度 第1回 中能登町立鹿西小学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和7年5月15日（木）13：00～14：07
【会 場】	中能登町立鹿西小学校 多目的室
【出席者】	泉 知久、大森 宏一、笠松 幹夫 学校長、坂口 一男、四伊 深雪、宮川 由里子 宮田 政雄（50 音順） 学校代表者：西崎 唯一 教頭
【欠席者】	中島 登 生涯学習課）平岡
【事務局】	学校教育課：山森担当課長 横山主事 生涯学習課：寺西主査 山口
【次回予定】	未定

【進行】学校教育課：山森担当課長、鹿西小学校：西崎教頭

1. 開会あいさつ

《笠松学校長》

お集まりいただきありがとうございます。比較的、穏やかに学校生活を送れるような季節になってきた。授業に関しては、落ち着いて授業に取り組んでいる子どもたちの姿が見られる。昨年度3月に、いろいろな方からお話を聞き、もう少し高みを目指したいという思いを持ち、学校経営計画をリニューアルした。職員の半分が変わったが、ピンチをチャンスと捉え、今までできなかった、「鹿西小学校をこうしていきたい！」という声を実現するために、ここまで走ってきた。子どもたちの疲労度を見ながら、慌てずに、着実に、学校運営を進めていきたい。よろしくお願いします。

2. 会長、副会長の承認

※委員互選により、会長：中島 登さん、副会長：大森 宏一さんに決定。

3. 令和7年度学校経営計画について

※笠松学校長より説明

【質疑応答】

- 能登部上区防災士会に宮田委員・四伊委員が加入しているが、ろくせい児童館にて防災についての講話を、6/11(水)に企画している。
 - ⇒参加した子どもも、学んだことをみんなに広めてもらいたい。
 - ⇒学校でどの程度まで防災のことが浸透しているか確認したい。
 - ⇒学校では、授業参観で保護者・児童が一緒になって防災についての学習ができないか、検討している。内容については、非常食を食べたり、段ボールベッドや簡易トイレを組み立てたり、という案が出ている。
 - ⇒以前、消防団に協力いただき、避難訓練の中で消火器を使用したり、放水体験を実施。
 - ⇒体験は1度だけではなく、何度も経験してもらうことも大事だと思うので、是非、気にせず企画していただきたい。

※学校経営計画について承認。

4. 協議

①通学路の安全確保について ～西崎教頭より、資料を基に説明～

【意見等】

- 学校前の町道について、子どもたちに山側を歩いてもらうよう注意を促し、町の方へ白線を引いてもらえるよう、引き続き要望していきたい。
- ⇒教員の立場としては、公費解体で町内に出入りしている外国人の方に、スクールゾーンであることをお伝えしている。

⇒昨年度、近江クリーニング付近の踏切が危険だということで協議してきたが、その踏切を通過して、歩いて通学している児童は兄弟1組のみ。ほとんどの児童が車での送迎をしている状況。

⇒踏切付近には線路の段差もあり、大人でも危険。鉄道会社も関わることなので、町からの対応は難しいとの判断だった。

- 安田医院付近の十字路について、1m幅程度のグリーンベルトを引いてもらうだけでも、車は注意することができるのではないかな。

⇒以前、沖馬場地区・若草地区の歩道の色を変えてもらい、川沿いの路肩を広くとってもらった。町が承諾してくれたらどれだけでも実現できる。

⇒危険箇所を町の方やPTA会長などと回った際には、声を挙げている。

- 3・4年前に、金丸地区でグリーンベルトを引くというところまで話が進んでいたが、止まっている。学校運営協議会としても、何かしら形にしたい。危険箇所は、鹿西小学校に限らず、他の校区でもあるので、いろいろな所から声を挙げていくべき。

- 登下校時の保護者の送迎について、駐車場周辺の出入りが激しく危険な場面が多々ある。

⇒中能登中学校や鹿島小学校では一方通行のルールを設けたが、ずいぶん浸透してきた。

⇒車での送迎が多いということだが、できれば歩いてほしい。

⇒子どもの人数も減り、不審者情報が出回っている時代なので、1人で登下校すると危険だという意見も多い。

⇒まずは保護者に、コドモンなどを活用しながら通行ルールを周知していく。

②③地域に向けた発信・ふるさと学習について

【意見等】なし。

6. 閉会あいさつ

《大森副会長あいさつ》

昨年度も委員として関わっている方が多いので、会長・副会長関係なく、これからも学校・子どもたちのために一緒に頑張っていきたい。新しい校長先生も子どもたちのために頑張ってくれる校長先生だなという印象を受けた。こういう機会もないと、学校に関わることがないので、校長先生も含めて、みんなで元気に、学校・子どもたちのために協力していきたい。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。